

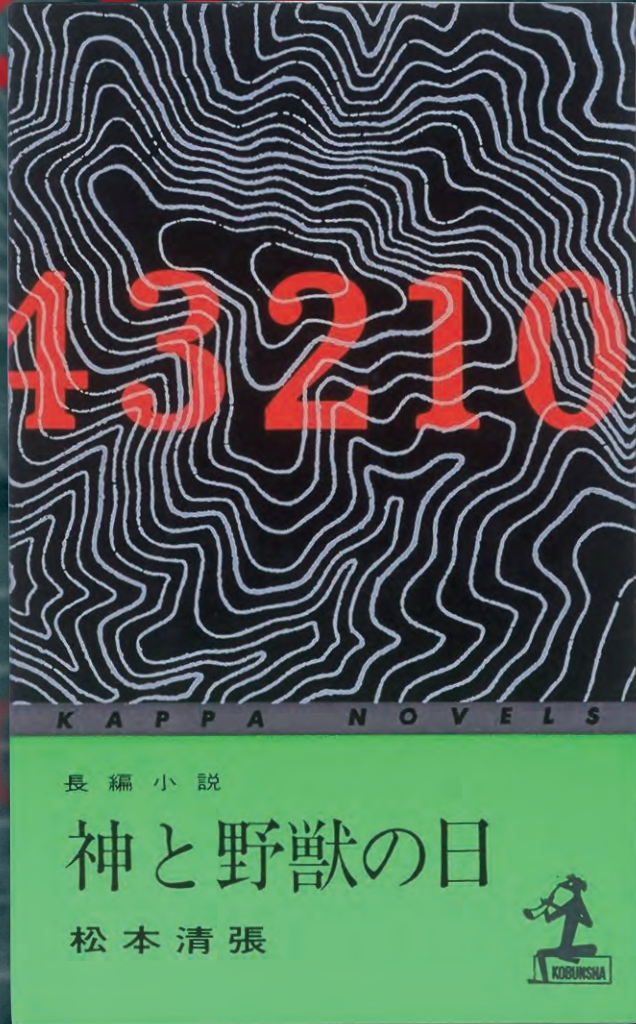
松本清張記念館

◆館報◆

2026.4
第77号

崩壊した。

秩序は完全に



『神と野獣の日』昭和38年(1963年) 光文社カッパノベルス

現在入手しやすい本
『神と野獣の日』 角川文庫

今や人間は、
原始人の姿に還りつつあった。
すでに法律も法令もなかった。
人間の自由を長い間拘束してきた
道徳も倫理観も破れ去った。

作品介绍

防衛省の統幕議長から首相へ、「東京へむかって核弾頭を積んだミサイルがZ国から発射され、43分後に爆発予定」との連絡が入った。首相は死の瞬間を家族で迎えさせたいと国民に公表することを決定し、臨時ニュースが流れた。

都心から脱出しようと、道路は人や車でひしめき合って事故が多発し、地下鉄も混乱した。商店では奪い合いが発生した。受刑者は解放され、暴力をふるった。秩序は完全に崩壊し、戒厳令が発令された。その一方で、教会や寺院では祈りや読経が捧げられ、地下鉄に避難した人々は童謡を歌い、心を慰めあう。極限の状況下で、様々な人間絵巻が繰り広げられた。

時間の経過とともに、東京中の人間の半分は、迫る死を迎える覚悟になっていたようだった。ミサイルを5発中3発は撃ち落とすことが出来たが、2発は東京へむかっている。そして、一発が落下した。しかし、爆発はしなかった。人々は助かったと歓喜したのだが……。

作品発表当時、前年にキューバ危機が発生し、核戦争の危機が強まった時期だった。そして核の脅威は現在も存在し続けている。未来に生きる私達人類へ警鐘を鳴らすとともに、もし突然の死がせまったら自分がどのような行動をとるのだろうかと考えさせる作品である。

(企画係長 久富 友嗣)

目次

ミステリ作家トークショー&サイン会	2
特別企画展	3
釜山大学ワークショップ	4
音声ガイドガイドブック(外国語版)	5
友の会だより・研究会告知	6
研究誌紹介・読書感想文コンクール募集	7
トピックス	8

ミステリ作家たちの横顔展 ⑩ 北九州

トーク&サイン会

開催しました

Talk Show &
Signing Event

2月22日(日)に J:COM北九州芸術劇場に

有栖川有栖氏・北村薫氏・竹本健治氏を招き開催しました。

内容は次回館報にてお知らせします。



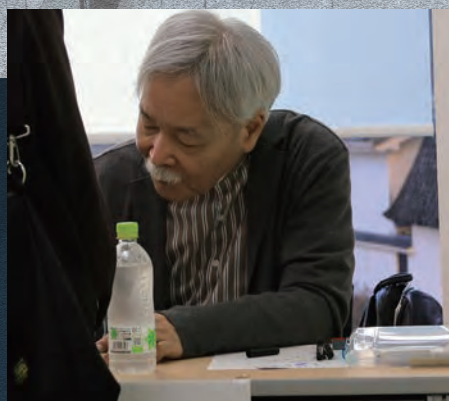
▲竹本健治氏



▲北村薫氏



▲有栖川有栖氏



サイン会の様子

戦後80年特別企画展

軍都の風景と 占領の影

松本清張の戦前・戦後

戦後80年特別企画展「軍都の風景と占領の影 松本清張の戦前・戦後」を、令和7年9月20日(土)～11月24日(月・休日)に開催しました。

会期中、のべ4,342人の方にご来場いただきました。ありがとうございました。



開催しました



会場

…来場者の声…

会場出口の手前に「あなたの『平和への願い』をここに記してみませんか?」というコーナーを設けました。そこに寄せられたメッセージからいくつかをご紹介します。

- 全体もたいへん見ごたえありました。企画展の問題提起もって世の中でも宣伝してほしい。つっこんだ展示で興味深かった。
- 戦争に否応なく翻弄されてきた人々の心や身体に深く刻み込まれた苦しみが、松本清張作品の通底にあるのだと感じました。心から平和を祈ります。K
- 今の時代だからこそ松本清張作品は読まれるべきだと思います。平和と想いを次代へつなげます。
- なんだらう……目頭があつくなる。来る意味があったのかもしれない。知ることで学ぶことの大切さ!
- 長崎県民です。長崎が最後の被爆地になるのを願っています。戦後80年、色々考えました。ありがとう。松本清張先生。
- 先人の方々の努力を無駄にしない事が今を生きる我々の使命だと思います。
- 世界の平和をいつも願っています。平和があってこそその日常が日本にはあります。80年です。もっともっと続いていきますように。大阪K
- 小倉が軍都だった事をあまり認識していなかった。でも僕の祖父も造兵廠で働いていました。その痕跡を見たくて来ました。

戦後80年 4館連携スタンプラリー

戦後80年ということから、北九州市立 中央図書館、平和のまちミュージアム、文学館、松本清張記念館が、平和に関するテーマで企画展を開催しました。この機会をとらえ、連携事業として4館をめぐるスタンプラリーを実施しました。要件を満たすと、記念グッズとしてオリジナル・フリクション蛍光ペンがもらえる企画で、1000人近くの方がご参加くださいました!

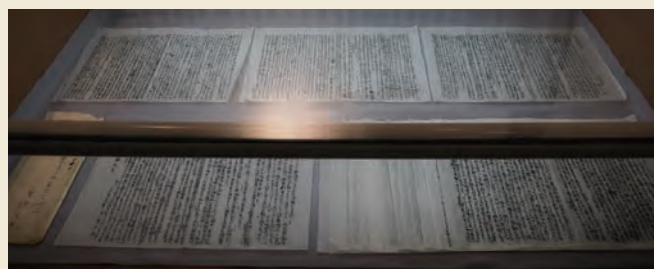


帝銀事件・平沢貞通の 手紙を追加展示

令和7年10月26日から松本清張宛平沢貞通書簡(1960年8月16～17日)を追加展示しました。

帝銀事件の犯人として逮捕された画家・平沢貞通が、獄中から清張に宛てて送った書簡で、「日本の黒い霧」連載の中で帝銀事件を取り上げた回(「画家と毒薬と硝煙」のちに「帝銀事件の謎」と改題)を読んで、すぐに書かれたものです。

本資料は、常設展でも一部展示(レプリカ)しています。企画展では、全文(約30,500字)を活字化して読めるようにしました。



松本清張宛 平沢貞通書簡

韓国・釜山大学

「Arise PNU グローバル社会貢献団プログラム」

令和8年1月12~15日、釜山大学による社会貢献プログラムの一環として、教授による講座や院生たちによるワークショップの実施に、松本清張記念館が協力しました。

今回のプログラムでは、松本清張の作品を通して日本の文化や歴史に触れていただくとともに、韓国の文化・言語・文学を学ばせていただくことで、お互いの理解を深めることができました。



Day 1

日常の韓国語

1. ハングル字母教育

ハングルの字母について基礎的なことを学んだ後、自分の名前をハングルで表記し、名札やピーズをつかったキーリング制作を行いました。



Day 2

松本清張文学ツアー

門司港の和布川神社や、下関市・壇ノ浦のみもすそ川公園など、清張ゆかりの場所を巡りました。



Day 3

日常の韓国語

2. 「韓国の美・味・粹」クイズと平和じゃんけん

韓国の人気カルチャーをテーマにしたクイズとじゃんけんで、楽しみながら韓国文化と韓国語を学びました。



平和文学特別講座

(講師：キム・リョシル教授)

佐木隆三「奇跡の市(まち)」をテキストに、北九州を背景にした戦争と平和についての講義でした。



韓国文学特別講座

(講師：ソン・ナムフン教授)

詩人・尹東柱の生涯と作品を紹介。詩をイメージした絵はがきなどを作成しました。



Day 4

清張文学と韓国

1. 韓国における清張作品

受容報告

清張作品が、韓国語訳でどのように読まれているのかを、レビューなどをもとに紹介されました。



2. 読書会

松本清張記念館友の会の読書会メンバーと、釜山大学の皆さんで、清張「或る『小倉日記』伝」を読んで、それぞれの感想を交わしました。

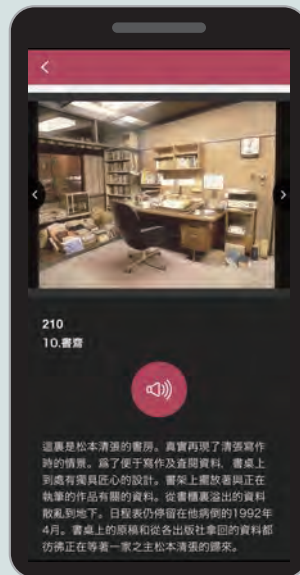
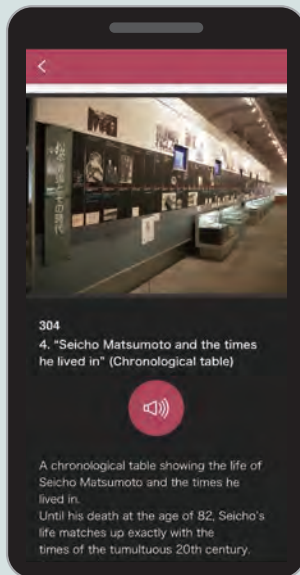
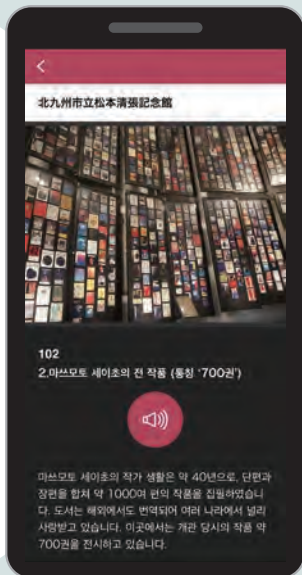


外国語版音声ガイドのご案内

昨年度、常設展示の音声ガイドとしてポケット学芸員(展示ガイドアプリ)を導入しました。

今年度は、英語、韓国語、中国語の音声ガイドを追加しています。

ナレーションを担当するのは、北九州市立大学に留学・在籍する学生たちです。



外国語版パンフレットのご案内



当館公式ホームページに、英語、韓国語、中国語のパネル展示ガイドブック(PDF)を掲載しています。

こんなとき

- 外国のお客様を連れて行きたいけど、展示パネルの日本語がわからない……
- 海外からの旅行者に勧めたいけど、外国語対応しているのかなあ？
- 日本の旅行先を探しているけど、北九州ってどんな観光地があるの？



ぜひ、ご活用ください!!!

三人の作家の文章修業(3)

松本清張友の会
会長 加島 巧



中山義秀(1900年(明治33)―1969年(昭和44))が『厚物咲』で第7回芥川賞を受賞したのは1938年(昭和13)のことだ。翌年に『碑』を発表してからは文壇で活躍する。早稲田大学で横光利一(1898年(明治31)―1947年(昭和22))らと芸芸誌を創刊したのが二十二歳の時だから随分時間が必要であった。自分自身の芸芸修行と横光利一との交流は『台上の月』(1963年)で描いている。芥川賞の賞金を前借りした事も三十章に書いてある。

中山義秀と関わった二人の作家がいる。吉村昭と松本清張だ。

吉村昭(1927年(昭和2)―2006年(平成18))が中山義秀に会ったのは1951年(昭和26)の秋のことで、学習院大学の芸芸部部長として講演依頼に行った時だ。中山義秀との面会には学習院女子短大の学生で、同じ部に所属する北原節子(1928年(昭和3)―)と二人で行った。講演依頼は引き受けて貰えた。その時に中山義秀に「あんたたちは、いいなずけですか?」と聞かれた。即座に拒否した二人だが、二年後に結婚したと知ると、「あの二人にはうまくだまされた」と笑ったとか。

この時のことは、津村節子も自伝的な小説『瑠璃色の石』(1999年)の中で書いていて、中山の質問に吉村はうろたえていたようだ。『厚物咲』しか読んだことのなかった津村は、『碑』と『テニヤンの末日』(1949年)を読んで出かけた。吉村(小説のなかでは高沢となっている)は中山義秀の作品では、『月魄』(1957年)が好きだと帰りの電車の中で言った。中山の「勁い」文体に好きを通り越して、畏敬の念を抱いていたと言う。

『月魄』は、主人公・平山金四郎を中心に、幕末の動乱の中で武士たちが抱えた忠義・孤独・葛藤を描き出す歴史小説であり、箱館戦争や五稜郭といった史実の出来事を骨格に据えつつ、その隙間にフィクションとしての人物造形や心理の陰影を織り込むことで、歴史の表層では捉えきれない個人の内奥を照らし出している。中山義秀特有の、簡潔で抑制の効いた筆致の中に人物の心の揺らぎを静かに湛える文体が、この史実と虚構の接合部をなめらかに橋渡しし、読者に「歴史の中に生きた一人の武士」の实在感を与えている。人物の感情を過度に描かず、行動と事実で語る文章は吉村の記録文学の特徴である。その姿勢には、中山義秀の影響が大きかったと考えられる。

松本清張(1909年(明治42)―1992年(平成4))は自分の文体を確立するのに苦勞していた時期がある。中山と松本の二人が直木賞選考委員会の途中、トイレで「文体の貸借」について話をしたのは有名な事なのだが、それは一体いつのことなのか?二人が共に選考委員をつとめたのは、1961年(昭和36)の第45回から1969年(昭和44)の第61回までなのだが、おそらくその最初の頃だろう。が、松本清張は中山義秀のどの作品を念頭に置いていたのか?『山中鹿之助』なのか?二人はこのタイトルの本を同じ頃にかけているのだ。読み比べてみたものの、判断はつかなかった。

答は思わぬ所で見つかったのである。

山崎豊子(1924年(大正13)―2013年(平成25))は『小説新潮』1984年3月号誌上で松本清張と対談を行った。その対談の中で松本清張は、中山義秀の『碑』を参考にしたと語っていたのだ。さらに、「硬質な筆で、簡潔な文章」との松本清張の評価は、吉村昭の指摘する「勁い」文体に通じるのではなからうか。

簡潔な文体の特徴と、直木賞選考委員会の初期という時期の二つを合わせて考えると、1960年1月から12月にかけて連載した『日本の黒い霧』や、その後続く『昭和史発掘』といった初期ノンフィクションの文体形成に中山義秀は影響を与えたと思われる。

松本清張研究会 第50回記念研究発表会 開催

松本清張研究会の研究発表会は今回、第50回を迎えます。それを記念して、東京と北九州市での2部形式の研究発表会を開催します。

第1部

日時	令和8年6月6日(土) 14時から18時
会場	文藝春秋西館地下ホール (東京都千代田区紀尾井町3番23号)
トーク	『松本清張の女たち』 酒井順子(エッセイスト) 相手: 田中光子(研究会理事)
発表	(1)「松本清張研究会と記念館の研究事業を振り返って」 (研究会事務局) (2)「小説はいかにして社会と対峙したか ——石川達三から松本清張へ」 山本幸正(中国上海・復旦大学教員、研究会会員)

第2部

日時	令和8年6月27日(土) 14時から18時
会場	松本清張記念館企画展示室 (北九州市小倉北区内2番3号)
講演	『松本清張と井伏鱒二』 綾目広治(ふくやま文学館館長・研究会会員)
発表	(1)「松本清張研究会と記念館の研究事業を振り返って」 (研究会事務局) (2)「松本清張「一年半待て」再考 ——戦後社会における男女格差の表象——」 孫平(大阪工業大学特任講師、研究会会員)

参加方法

参加無料・
要事前申込

一般 定員(1部:先着90名、2部:先着50名)

第1部、第2部とも、記念館HP(<https://www.seicho-mm.jp/>)「お知らせ」の記事から北九州市「電子申請」フォームを開き、事前にお申込みください。

友の会会員 友の会事務局(093-582-2761・岡本)に電話、または
FAX(093-562-2303)でお申込みください。

酒井順子さん(エッセイスト)の紹介

2003年に発表した『負け犬の遠吠え』で講談社エッセイ賞と婦人公論文芸賞を受賞。2013年『ユーマンの罪』がヒット。
近著に『松本清張の女たち』『ひのえうまに生まれて300年の呪いを解く』『日本エッセイ小史』『現代語訳・枕草子』などがある。

研究誌「松本清張研究」 第二十七号

特集 清張の「昭和」

対談

昭和二〇〇年、松本清張の「昭和」を読む

成田龍一・小森陽一（司会） 田中光子

松本清張の昭和史観を読む

——その眼差しを支えた人間像を分析—— 保阪 正康

清張の見た「小林多喜二の死」

——「出つくして」いたもの／「加え」られたもの—— 島村 輝

『日本の黒い霧』『天疑獄事件』を中心に

いま松本清張の史眼は現代日本を射抜く…… 小宮 京

高度成長下の清張の企業小説

…… 綾目 広治

論文

硬玉発見史と「万葉翡翠」…… 春成 秀爾

資料紹介

資料紹介・松本清張全集未収録作品「父像」…… 松本 常彦

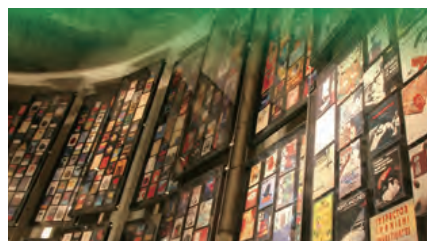
エッセイ

”玄人“女性が活躍した理由…… 酒井 順子
見えないものを描く…… 江崎 文武
清張先生、助けて！…… 野島 博之

記念館

論文

二つの「玉碗記」——松本清張と井上靖—— 中川 里志



令和8年度
中学生・高校生

読書感想文コンクール

若年層に清張作品に親しんでもらうとともに、表現力を学び、豊かな心を育む契機となればという思いから始めました。新時代を切り開く若者達へ、探求の人・松本清張の精神の伝達を働きかけるものです。

■ 応募対象 全国の中学生・高校生

■ 課題図書 中学生・高校生ともに下記から1作品

『砂の器』（『砂の器』上・下 新潮文庫など）

『高校殺人事件』（『高校殺人事件』新潮文庫など）

『恋情』（『西郷札』新潮文庫など）

■ 応募方法

- 中学生、高校生ともに1200～2000字程度の読書感想文を書き、応募用紙に添えて提出してください。
- 当館ホームページから、電子申請の項目に必要な事項を入力し、感想文を添付しても応募できます。
- 手書きの場合は400字詰め原稿用紙を使用してください。手書き以外の場合は20字×20行（縦書き）で作成してください。サイズはA4（横長）です。
- 原稿は自作で未発表のものに限りません。なお応募用紙はお返しいたしませんので、必要な人はコピーをおとりください。

■ 応募の注意

- 参考にした文献や出典を明記し、引用文は「 」で囲むなどわかるように表記してください。
- AIによる生成物をほぼそのまま自己の成果物として応募・提出することは不適切または不正な行為です。

※詳しくは文部科学省「初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン（Ver.2.0）（令和6年12月26日公表）」をご参照ください。
https://www.mext.go.jp/content/20241226-mxt_shuukyo02-000030823_001.pdf

■ 応募締切 令和8年9月30日（水）※当日消印有効

■ 選考 松本清張記念館内の選考委員会により選考します。

■ 発表

最優秀賞、優秀賞の受賞者には、11月中旬頃、本人と学校に通知し後日表彰式を行います。なお、入選の結果は、当館発行の「館報」およびホームページで発表します。その場合、著作権は松本清張記念館に帰属します。

■ 賞（受賞人数等変更の場合もあります。）

- 最優秀賞（1名）
- 優秀賞（中学の部…1名）（高校の部…1名）
- 佳作（中学の部…3名）（高校の部…3名）

※最優秀賞は中学の部、高校の部で各1回ずつの受賞と限らせていただきます。最優秀賞受賞後の応募も歓迎します。すでに受賞した人からの応募作品が賞に該当する場合は〈特別賞〉として当館発行の「館報」掲載を予定しています。

■ 応募先・問い合わせ

〒803-0813 北九州市小倉北区城内2番3号
松本清張記念館 読書感想文コンクール係
TEL 093(582)2761 FAX 093(562)2303

※応募用紙のダウンロード、および電子申請は、当館ホームページ「令和8年度 中学生・高校生 読書感想文コンクール」から利用できます。

第29回

松本清張研究 奨励事業募集

募集要項

対象

- ①松本清張の作品や人物を研究する活動
- ②松本清張の精神を継承する創造的かつ斬新な活動(調査、研究等)

※上記①②の活動で、こちらからお知らせするもの。ジャンルは問いません。ただし、未発表に限ります。個人又は団体も可。

内容

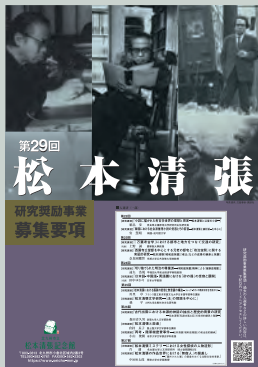
入選者(団体)に100万円を上限とする研究奨励金を支給します。

応募方法

今後取組みたい調査・研究テーマ等の内容が具体的に分かる企画書、予算書、参考資料(全て様式は自由。ただし日本語)を令和9年3月31日までに応募ください。

※ただし、予算が確保できなかった場合、当該事業を実施できない可能性があります。

詳しくは、ホームページをご覧ください。記念館までお問合せください。



朗読・ミュージック・おしゃべりサロン

毎月1回、古賀館長が地域の音楽家や朗読家等様々な分野の方をお招きし、当館で開催しています。松本清張の作品に関連づけた楽曲の演奏や歌唱、朗読などを聞きながらのおしゃべりに多くの方が参加されました。古賀館長が奏でるオカリナ演奏は、参加者された方々に好評いただいています。



● 編集後記 ●

毎年度8月に開館記念講演会を開催していましたが、今年度は2月22日にミステリ作家トークショー&サイン会を開催し、多くの方にご参加いただきました。今回のイベントは、丸善雄松堂株式会社様にご協力いただき開催しました。今後も様々な組織・機関と連携するなど創意工夫し、清張の魅力を発信してまいります。(Y.K.)



編集・発行

松本清張記念館

〒803-0813 北九州市小倉北区城内2番3号
TEL 093(582)2761 FAX 093(562)2303
<https://www.seicho-mm.jp>

イラスト:山藤 章二

制作 (株)ハーティブレーン

- ❖ 開館時間 午前9:30~午後6:00 (入館は午後5:30まで)
- ❖ 休館日 毎週月曜日(休日の場合は翌日)、年末年始(12/29~1/3)、館内整理日
- ❖ 観覧料 一般/600円(480円)、中学生/360円(280円)、小学生/240円(190円) ※ ()は30人以上の団体
- ❖ アクセス JR:小倉駅から徒歩20分 西小倉駅から徒歩10分
小倉からはバスをご利用いただくと便利です(小倉城・松本清張記念館前下車)
車:北九州市高速 大手町ランプより5分

講演会に行ってきました

日付	主催者・会場等
8/20	若松市民会館小ホール(若松市民塾)
8/22	東亜非破壊検査(株)北九州営業所 (日本非破壊検査協会九州支部「第8回イブニングサロン」)
9/2	リーガロイヤルホテル小倉(小倉南ロータリークラブ例会)
9/5	JR九州ステーションホテル小倉 (小倉工業倶楽部「金曜会・スモールセミナー」)
9/16	年長者研修大学校周防学舎(生活情報コース・第2回)
9/26	年長者研修大学校穴生学舎(シニアライフデザインコース・第1回)
9/29	リーガロイヤルホテル小倉(小倉中央ロータリークラブ例会)
10/16	松本清張記念館(大手町クラブ)
10/18	小倉北区・足原市民センター(足立山麓の松本清張さんを「偲ぶ会」)
10/19	戸畑区・戸畑生涯学習センター(戸畑区俳句協会)
10/25	下関市・ねをはず(「ねをはず」開業1周年講演会)
10/26	松本清張記念館(セラビューティックケア)
10/31	松本清張記念館(20政令市文化芸術団体会議)
11/13	松本清張記念館(北九州市民カレッジ「大人の社会科見学」)
11/16	八幡西区・アートクレフクラブ(北九州くきのうみ東築会)
11/17	小倉北区・生涯学習総合センター(北九州婦人団体研究会)
11/18	小倉南区・葛原市民センター(気軽っちゃサロン葛原)
11/19	松本清張記念館(福岡県高退教《高校退職教師の会》)
11/26	若松区・花野路集会所(花野路サロン)
11/27	若松区・高須市民センター(若松区女性団体連絡会議)
12/9	福岡市博多区・朝日カルチャーセンター福岡教室 (昭和100年九州が紡いだ六つの物語・第1回)
12/16	小倉北区・湖月堂(北九州市プロバスクラブ)
12/19	八幡東区・レインボー広場(皿倉山サテライト)
1/13	福岡市博多区・朝日カルチャーセンター福岡教室 (昭和100年九州が紡いだ六つの物語・第2回)
1/17	若松区・高須市民センター (藤木小学校・石峯中学校合同家庭教育支援講座)
1/22	松本清張記念館(佐賀市・蓮池校区社会人権・同和教育推進協議会)
1/31	若松区・若松中央市民センター (浜町地区ひとり暮らし年長者ふれあい交歓会)
2/7	八幡西区・熊西市民センター(たらばる・わくわく塾「土曜講座」)
2/14	小倉北区・浅野パティオ (北九州市シルバー人材センター「小倉北区会員研修」)
2/25	松本清張記念館(北九州市観光案内ボランティア「門司地区研修会」)
2/28	アートホテル小倉ニュータガワ(北九州市臨床検査急患部会)
3/5	松本清張記念館(サンカルナ小倉大手町)



※当館専用駐車場はございません。隣接する市営駐車場をご利用ください。